

プランクトン検鏡結果のお知らせ

野見湾湾奥部で着色が確認されたため、調査を実施しましたので結果をお知らせします。
検鏡の結果、野見漁協前(表層)の海水中から、有害種ヘテロシグマ・アカシオが12,600cells/ml確認されました。被害が想定される密度に達しているため、餌止めを行う等、慎重な養殖管理をお願いします。その他、魚類に対して非常に有害なシャットネラ属が1cell/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

【注 意 点】

- プランクトンは鉛直運動するため、午前中潮色が良くても、午後から着色する危険性があります。
- プランクトンは潮流や風の影響で移動する危険性があります。



漁業被害が想定される細胞密度

- ヘテロシグマ・アカシオ(へい死): 10,000~50,000cells/ml
- シャットネラ属(へい死): 10~100cells/ml

※野見湾では、現在、無害種ヘテロカプサ・ランセオラータによる赤潮も発生しています。